

～町民参加のまちづくり推進のために～
町政懇談会を開催します

町では、町民のみなさんに町政に関する話題を提供するとともに、みなさんからご意見をお伺いして、これからのまちづくりや地域づくりに反映させるための町政懇談会を開催します。

これからの共和町のまちづくりについて、一緒に考えてみませんか？

開催日	時間	今年度の会場
11月27日（日）	午前10時00分～午前11時30分	小沢地区住民センター（小沢95番地256）
	午後1時30分～午後3時00分	前田地区寿の家（前田11番地）
12月4日（日）	午前10時00分～午前11時30分	生涯学習センター大ホール（南幌似37番地22）
	午後1時30分～午後3時00分	宮丘地区寿の家（宮丘423番地7）

※ お住まいの地域に関係なく、どの会場でも参加できます。（共和町民限定）

※ 会場については、年度毎に変更となりますのでご了承ください。

今年度は、以下の3つのテーマについてご意見をお伺いします。（テーマは今後変更となる場合があります）

○テーマ1 『道の駅の建設について』

◇ 町では、町内を周遊・滞在できる観光づくり、雇用の場や地域産業の活性化の他、地域住民の賑わいの場を創出するため、情報発信交流拠点施設となる「道の駅」の令和9年度開業に向けて準備を進めています。

今年度実施している基本設計の内容など、これまでの検討状況についてご説明させていただき、町民のみなさんのご意見をお伺いします。

○テーマ2 『学校再編の検討状況について』

◇ 少子化によって町内の小学校3校では1学級当たりの児童数が年々減少し、学校の小規模化により授業や活動に支障が生じています。また、近い将来複式学級の発生が予見されるなど、子ども達の教育水準や教育の機会均衡の確保が大きな課題となっています。

昨年、共和町立学校適正規模・適正配置検討委員会から「小学校の統合および小中一貫教育の導入が望ましい」との答申がなされたことから、教育委員会において協議・検討を重ね、今年1月に共和町立学校適正規模・適正配置基本方針を定め、今年度は基本計画の策定を進めているところです。

現在の検討状況をご説明させていただき、町民のみなさんのご意見をお伺いします。

○テーマ3 『並行在来線（JR函館線）代替バス運行に関する検討状況について』

◇ 2030年度末に予定されている北海道新幹線札幌延伸に伴い、JR北海道から経営分離される並行在来線（※）の函館線（長万部・小樽間）は、本町の小沢駅も区間内となりますが、北海道と沿線市町村で構成する協議会において、今年3月に全線バス転換が決定しました。

今年度は代替バスの運行について協議が進められているところですが、現在の検討状況をご説明させていただき、町民のみなさんのご意見をお伺いします。

※ 並行在来線…整備新幹線区間を並行する形で運行する在来線鉄道のことです。

●○●ご来場の際は、マスクの着用など、新型コロナウイルス対策へのご協力をお願いします●○●



前回の町政懇談会のようす

電話 67 - 8795

町長が直接みなさんのお話を伺います！ 共和町ふれあいトーク

令和3年度から始まりました町長と町の政策などについて、直接、意見交換を深める「共和町ふれあいトーク」は、これまでに計7回開催してきました。その内容の一部を、次のとおりまとめましたのでご紹介します。

○これまでにみなさんからいただいたご意見

・子育て支援について

Q「以前、別の町に住んでいたが共和町の方が良い。医療費は町が助成してくれているし、特に驚いたのが他の市町村で出産しても、交通費の一部を助成してもらえたこと。これからもぜひ継続して欲しい。」

A「町では、通院のための交通費は可能な限り助成したいと考えています。今まで距離で制限していましたが全て平等に支給していきたい。不妊治療についても治療期間は制限されますが、町で支援を継続したいと考えています。」

・町の農業の将来について

Q「私たちは町の農業の担い手としても地域農業の発展のため、新しい技術を導入していきたいと考えているが、農業用ドローンなどのスマート農業を取り入れるため、町からも支援していただけないか。」

A「スマート農業が道内で普及している中、町もみなさんに導入していただきたいと考えています。農業者のみなさんと農協と町で、連携を図りながら検討して参りたい。」

・道の駅について

Q「道の駅に温泉施設は作れないか。その他、公園や冬期間でも遊べるような施設を作って欲しい。その中で体験できるイベントなどがあると嬉しい。冬場でも売れる農産物があると良いと思う。」

A「温泉というご意見は、町政懇談会の会場でもありましたので検討して参りたい。子どもたちが屋内でも遊べるスペースは作りたいと考えています。また、新しく共和産のそば粉を使ったそばも作りたいと考えています。」

・泊原子力発電所について

Q「泊原発の再稼働と核のごみの最終処分地に係る住民説明会の開催についてはどう考えていますか。」

A「町の責務として原子力防災計画については、しっかりと取り組んでいかなければなりません。共和町として最終処分地のことで説明会を開催したり、手を上げたりすることは考えていません。」

・共和高校の有効活用について

Q「耐用年数などに問題なければ、体育館の床を改装するなどして、小中学生が冬でも土の上で野球やサッカーの練習ができるような場所にすることができないだろうか。」

A「校舎は解体となるが、体育館は利活用する予定です。当初は高齢者対策に利用することで計画されていましたが、改めて跡地利用のニーズ調査を実施する予定であり、様々な視点に立って考えていきます。」

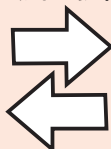


○開催までの流れ

① 開催希望団体等にて

- ・代表者が申込書に必要事項を記入
(申込書は、役場企画振興課または各出張所でお受け取りください)
(町ホームページからダウンロードもできます)

② 役場 企画振興課または各出張所に提出



③ 役場 企画振興課にて

- ・申込書の受理
- ・開催可否の判断
- ・参加人数などを考慮し、日程および会場を調整



④ 開催希望団体などの代表者へ通知



⑤ 「共和町ふれあいトーク」の開催

これからも、みなさまからの貴重なご意見をお待ちしています。ご不明な点は下記へお問い合わせください。

問い合わせ先 役場 企画振興課 企画調整係